１．教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

鹿児島大学では、教育学部において、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職員免許状が取得できます。また、法文学部、理学部、農学部、水産学部において、中学校、高等学校の免許状が、工学部において高等学校の免許状が取得できます。

鹿児島大学では、大学の教育目標をうけて教員養成の目標を立てています。教育学部では、現実の教育課題の解決はもとより、「美しい未来を築くために教育を学び教育の向上に邁進する」ことをモットーとして、現在そして未来の「教育」に貢献できる優れた人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員養成を行う学校教育教員養成課程を設置し、学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者の育成を目指しています。また、教育学部以外で教員免許を取得できる学部においても、各学部の教育目標のもと、教員免許取得を希望する学生に対して、各学部の専門性を活かした体系的な教職カリキュラムを実施しています。

教育学部においては、1 年次には、鹿児島市内の小中学校での学校体験実習を、2 年次には、次年度の教育実習を見据えて、附属学校及び代用附属学校での参加観察実習を行っています。これらの体験は、早くから教職に就く意識を高めると同時に、大学での専門教育の意義と必要性を高めることに繋がります。このように随時行われる学校現場での実習と、教科指導法や生徒指導など大学での専門的な学修を往還し、実践力をもった学び続ける教員を養成しています。また、離島や僻地を多く抱える鹿児島県の地理的特性を踏まえ、複式学級、少人数教育及び特別支援教育の指導を理解した上で、各専門分野について、指導案づくりや授業をはじめとする教育活動を構成できるように、専門科目を配置しています。

法文学部においては、教員養成を主目的としていないため将来教職につく学生は一部にすぎませんが、一般企業職や公務員職を目指す多種多様な学生と切磋琢磨し、客観的に自己を見つめるとともに様々な専門研究に触れることによって、広い視野と高度な知見を持った人材を育成することを特色としています。希望する教員免許状の科目に適した学科・コースで教科及び教科の指導法に関する科目を履修しつつ、併せて教育学部から提供される教育の基礎的理解に関する科目等を履修することによって、卒業に必要な単位を修得しつつ無理なく資格が取得できるようにカリキュラムが設計されています。

理学部のなすべき役割は，基礎科学に立脚した教育，研究を通して，人類の叡知としての理学の学理を深化させながら，複雑かつグローバルな現代社会において，未来を切り拓く人材を育成していくことです。その役割に立脚し，理学部理学科では，幅広い教養，論理的科学的思考力，社会性・国際性，先端科学の知識と問題解決能力等を身に付ける教育を展開し高い専門性を持ち創造的で指導的な役割を担うことのできる教員の養成を推し進めます。

そのために、基礎専門科目や専門科目、特別研究に加え、理学科では中学校教諭一種免許状（数学・理科）と、高等学校教諭一種免許状（数学・理科・情報）を取得できるように、教科及び教科の指導

法に関する科目と教育の基礎的理解に関する科目等を開講しています。

工学部においては、高等学校（工業）の教員に求められる資質・能力・教養に加え、工学系各分野の詳細な知識をもち工学的な視点から教育ができる人材の育成を目指し、各学科の特色を生かした専門科目を配置しております。

これらの科目は、様々な分野の面白さをいかにして生徒たちに伝えるか、などの教育者としての意識を高めるとともに、特色のある工学部の専門教育の意義と重要性を認識することにも繋がります。このように生徒の意欲を引き出す授業方法、自発的な学習態度を身に付けるための指導方法や直感的理解から科学的理解へと進める模擬授業等を行うことで、より高い実践力を持った教員を養成しています。

農学部は、農業生産科学科・食料生命科学科・農林環境科学科という、３学科いずれも「科学科」の名称としていますが、自然科学の知識を身につけ、自然科学的発想と理解力をもって、「農業」と「理科」の興味関心を育む教育に取り組む教員の育成を目的としています。

この教員育成の目的を達成するために農学部では、１期に授業科目「教職概論」を受講することで、教職の意義、教員の役割やその職務内容等を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を養い、教員としての心構えを学びます。また、物理学・化学・生物学・地学の各基礎実験や入門科目を１年次に履修し、自然科学についての基礎を学びます。２年次には「教育の基礎的理解に関する科目等」の授業科目「教育原論」・「教育制度論」・「教育心理学」のほか、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の各講義で教育の理念を学び、２年次以降に「農業」ならび「理科」の専門科目を配置し、確実に学習できるよう体系的な「履修課程表」と「教職に関わる履修課程表」を作成しています。

水産学部には水産系教員の養成を目的とする水産教員養成プログラムがあり、高等学校教諭一種免許状（水産）と併せて同（理科）、中学校教諭一種免許状（理科）を取得させることにより、水産系に加え理科にも強い教員を養成しています。本プログラムは全ての学部学生が登録可能になっており、プログラム担当の教員により懇切な指導がなされています。現在、高等学校教諭になりたい学生に対しては、水産系分野の教諭が最もその夢を実現できる分野の一つと考えられます。